

## 事業者向け

## 放課後等デイサービス自己評価表

公表：令和3年7月20日

事業所名 児童発達支援・放課後等デイサービスまんてん みくりや校

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか		○		集団活動が行う際は手狭に感じるが、限られたスペースで職員が怪我等がないように工夫して支援している。
	2	職員の配置数は適切であるか	○			職員の配置基準、配置人数適切である。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			老人施設を再利用の為、バリアフリー化されている。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか		○		職員間の中で浸透できていないので、今後、意識付けできるようにしていきたい。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか		○		今年度初めての評価表の為、今回の評価表を踏まえ最善していく。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			ホームページ等で公開予定。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	今後、第三者による外部評価の設置を予定。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			月1～2回、定期的にリモートによる研修を全職員にて実施。その後はレポート提出にて振り返りを行っている。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか		○		ほとんどできているが、変化があった子に対してのアセスメントが不十分な時がある。今後改善していく必要がある。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		○		ツールはあるがそれを十分にすることができていないので、していく必要がある。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			月に1度会議を行いプログラムを立てている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか		○		なるべく固定化しないようにしているが保護者の評価等を受け止め今後理解してもらえるように努めていく。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			個別に支援計画に応じて活動内容を少しずつ変えている。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			集団活動が苦手な子どもの為にレクレーション等集団活動の機会を毎月数回設けるようにしている。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			朝礼にて、前日の出来事や、課題の出を話し合い、情報共有し、支援に活かせるようにしています。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか		○		気になる点があった時などは、残っている職員で話をしている。翌日の朝礼で改めて話し合いをしている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか		○		記録は毎日とることができているが、それをもとに検証・改善はできていない時が多いので、今後できるように改善していきたい。

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			保護者からお子様のの困り感や状況の変化をできるだけ把握できるようにしている。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	○			幅広い特性に対応できるように様々な活動を取り入れるようにしている。	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			担当者会議には児童発達管理責任者等、子どもの状況を詳しく把握できている職員が積極的に参加している。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			送迎時間の遅れなどが大幅にあった時などは学校へ連絡するように伝え、時間の調整がうまくいかな時などは担任の先生と相談して適切に送迎ができるよう努めている。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○			医療的ケア児受け入れがない為、評価ができない。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか			○		相談支援専門員のみでの情報で、保育園等の情報共有はほとんどできていない。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか			○		現在卒業のお子様はいなかったため、評価ができない。今年度卒業予定のお様がいらっしゃるため、情報共有ができるように努めていく。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか			○		保護者より関係機関からの情報提供はあるが、事業所との直接的な連携はうまくできていない。今後、積極的に助言や研修を受けるよう連絡を取り合い改善していく。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○		コロナ禍ということもあり機会がなかったため、評価ができない。今後は、交流もできるように検討していく。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか			○		協議会等の実施がないので評価ができない。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○				連絡帳、送迎時などで情報交換は行っている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			○		ペアレント・トレーニング等の支援は行ってない。今後、研修会などに参加し、支援に取り入れられるようにしていきたいと思う。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○				契約時に、丁寧に説明を実施している。また、随時不明な点の問い合わせがあった時も、その都度丁寧な説明を実施している。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○				相談があった時はできるだけ時間を取り話を聞くように努めている。適切な助言、支援ができる時はしているが、難しい時などは専門機関などを活用している。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○		年1回、保護者参観を実施している。今後回数を増やしていくことも検討している。

	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			苦情などがあった場合は、状況を理解して、できるだけ、迅速に対応するようにしている。また、すぐには判断がしにくい時などは、上司などに相談して適切な対応ができるようにしている。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			毎月会報と別に、SNSやシステムで保護者への発信を行っている。
	35	個人情報に十分注意しているか	○			個人情報に関わる書類や事案等の情報は少数に留め、SNSや会報等は、複数で確認するなど十分に配慮している。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			意思疎通が難しくお子様には、保護者を通じて、個別に意思疎通がしやすい方法で対応している。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			コロナ禍ということもあり機会がなかったので、評価ができない。今後は、交流もできるように検討していく。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			策定はしているが、最善点もできていないので、見直しが必要。また、今後、防犯訓練などの実施予定あり。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			消防訓練は年に2回実施して、避難経路等の共有はできている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			職員会議などで研修会などを実施している。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			身体拘束に至ったケースがないため評価できない。今後、そのようなケースに備え整備を整えていく。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			医師の指示書はないが、保護者からのアセスメントで把握している。アレルギーに対しても職員間で共有して支援をしている。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			当事者が作成したものを職員間で閲覧し共有し、再発防止につなげている。